

第13回 問いを立てる (2月19日水曜日)

こんにちは。

長崎大学人、河野茂です。

前回は話しましたように、〈プラネタリーヘルス〉という概念は、

ひとつの学問体系だと思います。

学問とは、〈問い〉を立てることですから、各学部が、プラネタリーヘルスという

概念に向かって、どう問いを立てるのが、重要となります。

その〈問い〉を結集したときに、その〈答え〉に向かって長崎大学丸が進むのです。

〈問い〉により、方向性が決まると思います。

例えば、ダボス会議でも話題になったように

〈経済発展と環境保全は、両立できるのか?〉

という問いを本学が立てれば、

〈どのような経済発展がプラネタリーヘルスにとって良いか?〉

という課題を追求する新しい学科やコースやゼミが創設できると思います。

経済学部の皆さん、どうでしょうか?

この〈問い〉は、正しいのでしょうか?

メールでのご意見を待っています。

また、ぜひ、それぞれの学部、部署で、＜問い＞を立ててください。